

めぐり 施設

北公民館
TEL222-1400



同館は、平成三年に開館しました。会議室や実習室・和室などを備え、年間五万人以上の方が利用しています。主な事業として、子育て・パソコン・人権学習・地域学習などの講座を開いています。特に、環境に関する講座が充実していて、毎年秋には「かんきょう祭り」を開催。環境活動の発表、環境にちなんだ写真や「環境」を考える標語・川柳・都々逸の展示、有機野菜の即売などを行っています。



2階建ての白い建物です

同館の前には新河岸川があり、春には川沿いの桜を楽しむことができます。毎年桜の咲く時期に「北公民館まつり」を開催し、館内ではバザーやお茶会、絵画・書・パンフラーワーなどの作品展示、大正琴・コーラスの発表が行われます。また屋外では、飲食物の模擬店が出店し、例年大勢の皆さんが来館します。ことしの日程は、四月四日(土)・五日(日)です。

人権教育シリーズ

児童・生徒の作文⑧

平成十九年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

教育指導課・TEL224-6114

あなたは自分が好きですか? ①

中学二年生

「あなたは自分が好きですか?」こんなことを質問されて「はい。」と即答できる人は少ないでしょう。そういう私も「好きです。」と自信をもつて答えられませんでした。

私には七歳の妹がいます。妹はダウン症という知的障害があります。私たちがたいした苦勞もせずできてしまうことが妹には難しく、歩き始めたのも二歳に近い頃でした。でも今は、私の通っていた小学校の特別支援学級に毎日元気に登校しています。

私が学校から帰ってくると、妹はいつも玄関に飛んできて「おかえりもー!」(おかえりなさいの意味)と、ニコニコした笑顔ではつらつと出迎えてくれます。そんな妹に対して私は、しっかりと「たださい。」と言えぬ日もあり、疲れていて声が小さい日もあり、ひどい時には無視してしまう日さえあります。

母はよく妹のことを「いつも気持ち安定しているよね。」と言います。そう言われてみると、確かに妹の元気がない時は決まっています。それは風邪をひいたり、どこかが痛かったりする時だけです。一方、私はいつも心のどこかに、心配ごとや悩みことなどのモヤモヤした気持ちを抱えています。

ある日、妹が平仮名の練習をしていました。私を見つけると「ねえね(おねえちゃん)書いて。」と鉛筆を渡してきました。私が、しぶしぶ鉛筆を受け取り、ノートに適当な平仮名を書くと「すごいね、うまいね!」と感動したようにほめてくれました。こんなたわいのないことでも、ここまでほめてもらえる一瞬(自分ですごくいいのかな)と思っています。そんな時、私は、妹はどうしてこんなに素直に人のことをほめられるのだろうと思います。(つづく)

*ふりがなは広報室で付けました。

いざ! 災害に備えて⑫

防災危機管理課・TEL224-5554

●防災対策は、継続して行うことが大切です!

これまで、地震や風水害への備えなどの記事をご紹介してきました。防災の知識を身に付けたつもりでも、時間が過ぎると忘れてしまうことがあります。

「災害は、忘れたころにやって来る」と、よくいわれます。避難場所や避難ルートの確認、備蓄品の点検などを、家庭を単位として定期的に行いましょう。また、地域で行われる防災訓練に参加して、知識の習得や再確認をしましょう。

防災対策には、みんなの力が必要です。今後も、市では災害に強いまちづくりを推進していきます。市民の皆さんも、防災対策を生活に取り入れるようお願いいたします。



女性の更年期とストレス について

総合保健センター成人保健担当・TEL229-4124

女性が閉経する前後の約十年間を「更年期」といいます。一般に、四十歳代から五十歳代になると、卵巣の機能が衰えて、女性ホルモンの分泌が急激に低下します。

更年期の症状は、のぼせる・急に汗が噴き出す・いらいらする・不眠などの体の不調です。九割近くの女性に表れる、これらの症状は女性ホルモンの分泌の減少が原因です。しかし、その表れ方には

個人差があります。これは、ストレスの感じ方や、生活習慣などでも更年期の症状に関係するといわれているためです。

まず、一人で悩みを抱え込まないようしましょう。気軽に話せる友人を持ち、ちょっとした悩み事でも相談できると気持ちが楽になります。人と話すのが苦手な方は、日記を書くのもよいでしょう。な

るべく物事を前向きに考えることも大切です。また、話を聞く、家事を分担するなど、家族や周囲の方の援助も大きな力になります。

更年期の症状で、少しでも日常生活に差し支える場合は、更年期外来や女性外来・更年期に詳しい婦人科などを受診しましょう。

知って得する! 川エコの知恵⑪

「まとめ」の巻

1年間にわたり、環境に配慮する暮らしの提案をしてきた「知って得する川エコの知恵」はいかがでしたか? 「川エコ」とは、「地球にやさしいエコライフ」と「小江戸の知恵」を融合し、川越ならではの地球温暖化対策を実践する「川越市民のエコライフ」のことです。市民の皆さんがより身近なところで実践できるような、生活に役立つ題材を取り上げてきました。

市内の温室効果ガス排出量は、京都議定書で定める基準年の平成2年で133万5,400tでした。これまで市では、1%節電プラス1(ワン)運動や、住宅用太陽光発電システム設置費補助など、環境に配慮した取り組みを進めてきました。しかし、同15年の排出量は176万200tで、42万4,800tも増加しています。今後、新たな地球温暖化対策を何も行わない場合、目標年の同24年の排出量は、188万2,900tになると推計されます。温室効果ガスの削減には、行政と市民、企業が一体となり、地球温暖化対策を積極的に行うことが重要です。

市では、平成19年12月に「川越市地球温暖化対策条例」を制定しました。また、環境に配慮した新たな事業を実施するために、同21年3月に「(仮称)川越市地球温暖化対策地域推進計画」を策定する予定です。

今後も、温室効果ガスのさらなる削減に向けた地球温暖化対策を実践していきます。環境先進都市を目指して、市民の皆さんも、省エネや節約を意識した川エコな暮らしをお願いします。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

Report

消費生活 レポート

165

衣類への火の燃え移りに注意しましょう!

事例

鍋物を調理しようとして、右腕をコンロの上に乗べたときに衣類に火がついた。右腕から首にかけて、やけどを負ってしまった。

衣類に火が燃え移り、やけどを負うなど重大な事故が高齢者に多く起きています。中でも、調理中の事故が半数を占めています。衣類は一度火がつくと、約五分で燃え尽きる場合があります。

消費者へのアドバイス

①火を使う際は、炎に衣類を近づけないよう気を付けましょう。コンロの奥の物を取るときは、火を消しましょう。また、袖や上着のすそが広い衣類は避けましょう

②調理中、衣類に火がついてしまったら、台所のかみ置きなどの身近な水で消火しましょう。屋外などの水がない場所では、地面に横になり転がるとよいとされています。驚いて走り回ると、風にあおられて火が燃え広がりが危険です

③防災製品は、燃えにくいことが確認されています。火の近くでの作業には、防災のエプロンやアームカバーなどを使うことも効果的です

消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月二十五日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター(アトレ六階)

TEL226-7066

(相談専用・TEL226-7476)